

ここでは、次の MENU シートに配置されている変換オプションについて説明します。

【モード設定】¹

- 通常 『テクノス V2』へ取り込む形式への変換
- 上出来専用 上出来 BEST へ取り込む形式への変換

【取り込むデータのレベル選択】¹

変換したい(『テクノス V2』へ取り込みたい)データの階層を指定します。

【 帳票番号が同一の単価表の参照化(名称規格は考慮しない) 】

帳票番号が同一であっても名称と規格が異なれば同一の単価表であるとは断言できないため、参照化されません。ただし、本オプションを有効にすれば名称および規格の同一性判断を省略し、帳票番号のみで参照化します。

【注意】名称、規格が異なる単価表が参照化されると参照化された単価表の名称および規格はいずれかの単価表のものに統一されます。

【 CBコード行を単価表形式で出力(通常はオフ、施工パッケージ形式) 】

ツールを起動すると初期状態では帳票番号にある CB コードを元に施工パッケージ行であることを判断します。施工パッケージ行も単価表として取り扱いたい場合のみこのオプションを有効にします。

【 CBコードから施工パッケージ名称を取得し出典に追記(設定は維持)】¹

本オプションを有効にすると、帳票番号にある CB コードを利用して国土交通省が規定する施工パッケージ名称を取得し、該当行の出典欄にその名称を追記します。

¹ 項目の設定状態はツール終了後も維持されます。